

第30回高知糖尿病チーム医療研修会のご案内

謹啓、初秋の候、皆様方におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。
第30回高知糖尿病チーム医療研修会をご案内致します。

今回の教育講演は、徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター 助教 黒田 暁生 先生から「実践カーボカウント」、また、高知記念病院 糖尿病内科部長 池田 幸雄 先生から「これは常識！ DM関連検査の基礎知識」と題してご講演いただきます。

シンポジウムでは、県内各施設で糖尿病療養指導にご活躍の先生方の口述発表と総合討論を予定しております。糖尿病治療、指導に興味をお持ちの医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、栄養士、保健師、理学療法士、歯科衛生士等多数のご参加をお待ちしております。

尚、本研修会は、日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会として<第2群>(糖尿病療養指導研修単位) 1単位を申請中です。

謹 白

第30回高知糖尿病チーム医療研修会

幹事 高知高須病院 井上 美和

記

日 時：平成25年11月3日（日） 13:00～17:00

場 所：高知市文化プラザ かるぽーと 2階 大ホール

対 象：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、
栄養士、保健師、理学療法士、歯科衛生士、その他医療スタッフ

【講師プロフィール及び講演要旨】



「実践カーボカウント」

黒田 暁生 先生(徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター 助教)

カーボカウントとは、食事に含まれる炭水化物量を把握することで、食後血糖管理を行う指導法である。カーボカウントは糖質制限食とは全く異なるものである。カーボカウントは基礎カーボカウントと応用カーボカウントに分類できる。基礎カーボカウントとは、摂取糖質量を一定にすることで食後血糖を安定させることを目的とするもので、すべての糖尿病症例が適応となる。特に食品交換表を用いたエネルギー管理食を実践している症例へ補助的に主食量を具体的に指導することは大変重要である。一方、応用カーボカウントとは摂取糖質量に応じて投与インスリン量を変化させる1型糖尿病、あるいは強化インスリン療法中の2型糖尿病症例が適応となる。カーボカウントを利用すれば好きなだけ食べられるという風潮であるが逆に、減量を目的とする「減らす応用カーボカウント」は体重管理に大変有用であり、その使用法も紹介する。



「これは常識！ DM関連検査の基礎知識」

池田 幸雄 先生(高知記念病院 糖尿病内科部長)

2013年5月に熊本で開催された第56回日本糖尿病学会年次学術集会において、「熊本宣言2013」として新しい血糖コントロール目標が発表され、同年6月1日より運用されている。合併症予防のための目標HbA1c 7.0%未満を中心に、血糖正常化を目指す際の目標HbA1c 6.0%未満、治療強化が困難な際の目標HbA1c 8.0%未満が掲げられている。HbA1cは平均血糖値を反映する指標としてのゴールド・スタンダードであるが、いくつかの病態において両者に乖離が生じる。そのような病態においては、より短期的な平均血糖値を反映するグリコアルブミンや1,5-AGを用いることを考慮すべきである。糖尿病の包括的管理にチームアプローチが重要であることは言うまでもないが、その実践においては、患者個々の病態や合併症について正しい理解を共有することが不可欠である。本講演では、血糖コントロール指標の他、糖尿病の成因分類、インスリン分泌能、インスリン抵抗性、脂質代謝、合併症の評価に用いる臨床検査について、症例を提示しながら解説する。

【プログラム】

12:00 ~ 受付

13:00 ~ 13:05 開会挨拶

第30回研修会幹事 井上 美和 先生(高知高須病院)

13:05 ~ 14:00 **教育講演1** 司 会 高松 和永 先生(高松内科クリニック)

「実践カーボカウント」

演 者 黒田 暁生 先生(徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター 助教)

14:00 ~ 15:00 シンポジウム「糖尿病療養指導の現状と実際」

司 会 中村 寿宏 先生(細木病院 医師)

門脇 桂子 先生(高知赤十字病院 臨床検査技師)

- ① 西原 えり子 先生(高知大学医学部附属病院 臨床検査技師)
「当院の糖尿病チーム医療における臨床検査技師のかかわりと今後の課題」
- ② 片岡 典代 先生(細木病院 看護師)
「当院における糖尿病透析予防指導の実際」
- ③ 八木 亜紀子 先生(細木病院 薬剤師)
「日本病院会 QIプロジェクト～糖尿病患者の血糖コントロール～」に参加して
- ④ 東 大和生 先生(くぼかわ病院 理学療法士)
「糖尿病理学療法臨床教育
— CDEJの理学療法士が地域のリハビリテーション病院で出来ること—」
- ⑤ 伊與木 美保 先生(高知大学医学部附属病院 管理栄養士)
「当院におけるカーボカウント指導の実際
— 緩徐進行1型糖尿病の1症例の紹介を含めて—」

15:00 ~ 15:05 休憩

15:05 ~ 15:35 ポスターセッション(上記シンポジウムをポスターにて質疑応答)

15:35 ~ 16:00 総合討論

16:00 ~ 16:10 糖尿病の寸劇 「高須栄養士日記」

劇団TAKASU

16:10 ~ 16:55 **教育講演2** 司 会 末廣 正 先生(高知高須病院)

「これは常識! DM関連検査の基礎知識」

演 者 池田 幸雄 先生(高知記念病院 糖尿病内科部長)

16:55 ~ 17:00 閉会挨拶

第30回研修会幹事 井上 美和 先生(高知高須病院)

参加申込書

高知糖尿病チーム医療研修会 事務局

〒781-5103 高知市大津乙2705-1

高知高須病院 栄養部

TEL 088-878-3377

FAX 088-878-3322

Email:dm-takasu@takasuhp.or.jp

※ この用紙に同一施設・複数名で、ご記名願います。

歯科医師会会員の先生方へ

ご出席の際には、日歯生涯研修事業ICカードを必ずご持参ください。

ICカードを忘れると、研修会の研修単位登録は自己申告で行うこととなります。

ご施設名： _____

ご施設名住所： 〒 _____

電話番号：(_____) _____

- | | | | |
|------------|-------|-----|-------|
| 1. 申込み代表者名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 2. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 3. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 4. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 5. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 6. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 7. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 8. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 9. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 10. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |

講師の先生にお聞きしたい点、ご質問がありましたら事前にご記入ください。

足りない場合、用紙をコピーしてご記入の上、FAX してください。

【その他の連絡事項】

1. 参加費 お一人様 1,000円を受付にて申し受けます。
2. 参加申し込み方法 住所・氏名・施設名・職種・電話番号を記入の上、FAX又はE-mailにて申し込み願います。
3. 参加申込先 〒781-5103 高知市大津乙2705-1 高知高須病院 栄養部

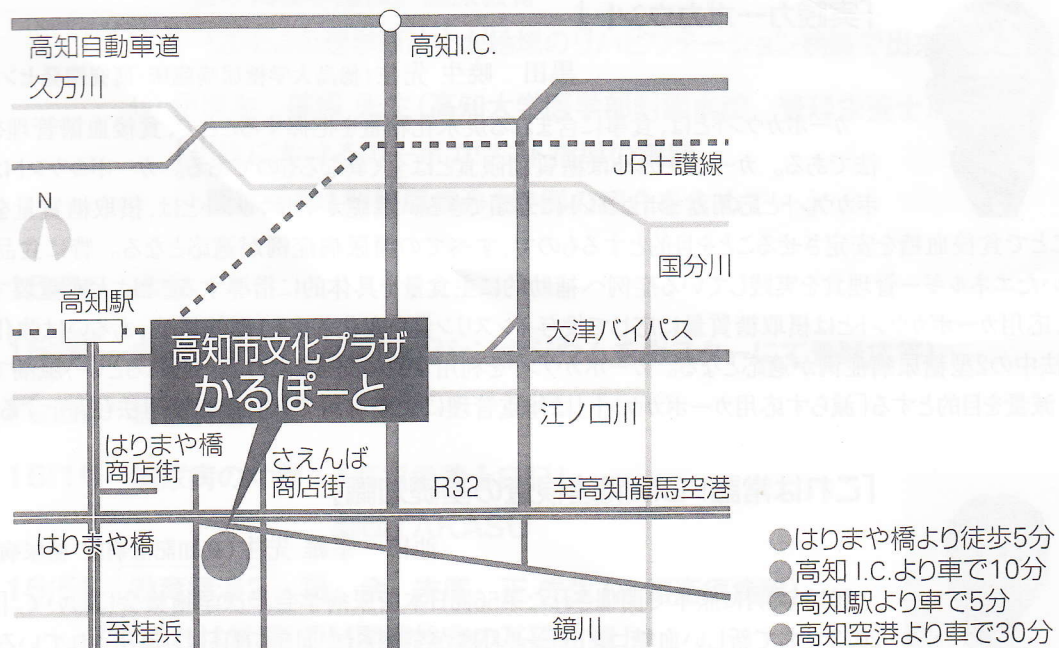
Fax 088-878-3322

TEL 088-878-3377

Email:dm-takasu@takasuhp.or.jp

4. 申込締切日 平成25年10月25日(金)
5. 当セミナーは、下記の研修認定単位を取得することができます。
 - ・日本医師会生涯教育講座(3.5単位)
 - ・日本薬剤師研修センター 認定単位(2単位)
 - ・日本病院薬剤師会生涯研修制度(2単位)
 - ・日本臨床衛生検査技師会履修点数(基礎-20点)
 - ・日本栄養士会 新生涯学習認定(1単位)
 - ・日本理学療法士協会 専門・認定理学療法士制度(5ポイント)「研修会の内容によっては認定単位が付与されない場合があります」
 - ・日本歯科医師会 生涯研修制度単位認定(4単位)
 - ・日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修<第2群> 1単位
 - ・日本糖尿病協会登録医・療養指導医制度のための講習会
 - ・日本糖尿病協会 歯科医師登録医のための講習会

6. 会場案内図



共催：高知糖尿病チーム医療研修会
高知県糖尿病対策推進会議
バイエル薬品株式会社
第一三共株式会社

(社)高知県栄養士会
(社)高知県薬剤師会
高知県病院薬剤師会

後援：(社)高知県看護協会
(社)高知県臨床検査技師会
(社)高知県理学療法士会
高知県医師会
高知県医師会糖尿病対策委員会
高知県歯科医師会